

Ver. 1.0 (日本語版) | 更新日 2025 年 8 月 27 日



EDEN GREENS PROJECT (EGT)

Crypto-Asset White Paper

© 2025 EDEN GREENS FOUNDATION. All Rights Reserved.

本書の全部または一部を無断で転載・複製することを禁じます。

プロジェクト名称

EDEN GREENS PROJECT

発行体情報

EDEN GREENS FUNDATION

トークン名称（ティッカー）

EDEN GREENS TOKEN (\$EGT)

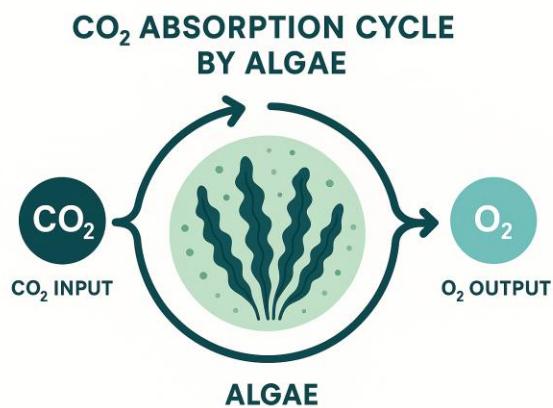


イントロダクション（既存事業の説明）

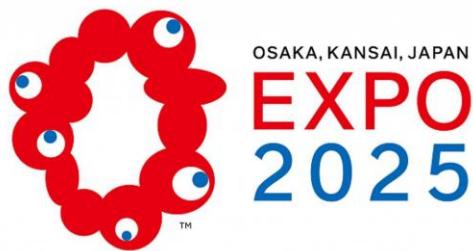
EDEN GREENS PROJECT の主幹事である EDEN GREENS 社は 2007 年から地球最初の植物である藻類の研究を日本でスタートし、現在世界中に 8 カ国、70 抱点に展開しています。EDEN GREENS 社における藻類の研究はゲノム解析まで完了し培養のメカニズムを確立させ、培養元となる藻類を「マザーベジタブル」と名付けました。



豊かに生きられる持続可能な社会を築くためには、限りある化石資源への過度な依存から脱却することが必要です。その鍵として注目されているのが、光合成という営みを通じて太陽エネルギーを効率的に蓄えて多様な有機物を生み出す藻類です。藻類は、そのまま食品や飼料となるだけでなく、抽出した原料から医薬品、燃料、プラスチック、繊維など様々な分野への応用が可能です。さらに、砂漠や荒地のような農業利用が難しい土地でも、太陽光と少量の水で培養でき、陸上植物と比較して物質生産効率が圧倒的に高い特性を持っています。



2025年夏日本にて開催されている「2025年日本国際博覧会」通称「大阪・関西万博」の「日本館」では藻類の可能性について展示されており、今後世界中で注目される分野です。



✿ 多様な産業応用

「マザーベジタブル」は多様な産業応用が期待されており、以下の7つの分野にて展開が始まっています。



食品分野	栄養価の高いスーパーフード（スピルリナなど）をはじめとする多種にわたる食品・原材料への展開
医薬品分野	フィコシアニン（スピルリナ由来）、フコイダン（褐藻由来）、アスタキサンチン（ヘマトコッカス由来）、EPA・DHA（海洋微細MV類由来）の開発
工業品分野	バイオプラスチック、化学原料、新素材の開発
養殖分野	水質浄化、天然飼料供給の開発
農業分野	バイオスティミュラント（植物成長促進剤）、土壤改良剤の開発
バイオマス分野	バイオディーゼル、バイオエタノール、バイオガスの開発
エネルギー分野	液体燃料、気体燃料、電力の開発

藻類培養技術を用いた均一化生産システムの施設は太陽光発電および蓄電システムを有しており、自社エネルギーにて 24 時間 365 日稼働し、CO₂の安定的かつ効率的な吸收を実証済みであり、技術の商業化に向けた確固たるエビデンスを有しています。

✿ プロジェクト概要と成長戦略

本プロジェクトとは、均質化された藻類培養技術を基盤とした生産工場を世界各国に自社拠点として構築・稼働させることで、事業モデルの実証（デモンストレーション）を行います。これらの実証施設が安定稼働することにより、生産システムの信頼性と商業的価値が実証され、グローバル市場における採用・導入の急速な拡大が期待されます。



藻類を活用した各種製品の生産工程では、大気中の CO₂を効率的に吸収し、同時に O₂を排出します。当社の均質化生産システムは、CO₂吸収量を安定的かつ継続的に維持でき、24時間365日の稼働を実現します。生産拠点数の増加は、そのまま CO₂吸収総量の増大へと直結し、環境負荷低減への貢献度を飛躍的に高めます。

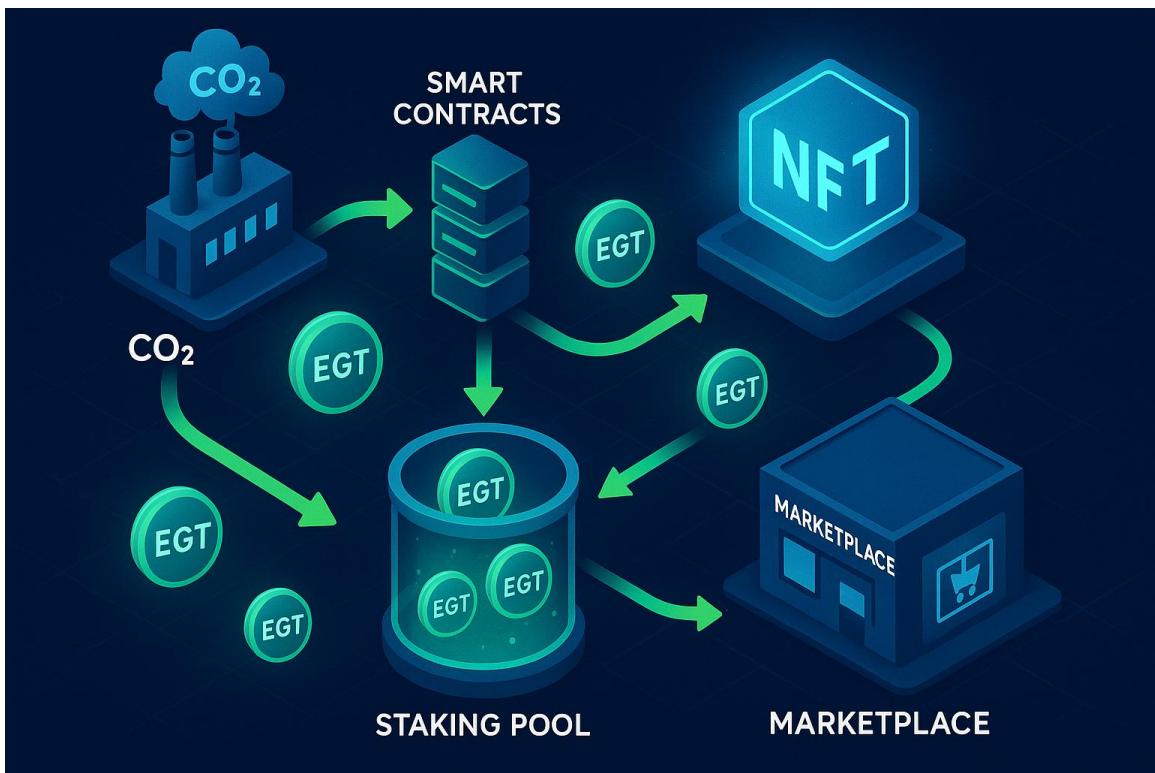
⌚ 資金調達とトーケンエコノミクス

当社は、Initial Exchange Offering (IEO) およびトーケンの市場流通を通じて資金調達を実施し、その資金を生産拠点の新規建設・拡張に充當します。

保有者は、当プロジェクトが発行する EDEN GREENS Token (EGT) をスマートコントラクトに基づくステーキングプールへ預け入れることで、当社生産施設において実際に吸収された CO₂量に連動した NFT を受け取ることができます。この NFT は、CO₂吸収の成果をブロックチェーン上で透明性高く証明するデジタルアセットであり、ステーキング参加者へのリワード（返礼）として付与されます。

⌚ NFT の流通と価値創造

発行される CO₂吸収量連動型 NFT は、提携およびオープンなマーケットプレイスにおいて自由に売買可能です。これにより、NFT は単なる環境貢献の証明にとどまらず、二次市場における取引価値を持つ資産として機能します。



本プロジェクトが解決する課題

① 社会的課題

💡 課題

- ・気候変動への関心は高まっているものの、個人・企業が直接的に CO₂削減に参加できる仕組みが不足している。
- ・環境貢献活動の成果が定量化されず、一般社会に正しく認知されにくい。
- ・環境テクノロジーへの投資機会が限定的で、一般投資家の参入障壁が高い。

☑ 解決策

- ・ステーキングと NFT を通じて、誰でも CO₂削減活動に経済的に参加できる分散型プラットフォームを提供。
- ・ブロックチェーン上に CO₂吸収量を記録し、環境貢献を可視化・証明。
- ・小口投資から参加可能な形で、環境関連ビジネスへの投資裾野を拡大。

② 経済的課題

💡 課題

- ・再生可能資源・環境保全技術の普及には多額の初期投資が必要であり、資金調達が課題。
- ・環境貢献が直接的な収益モデルに結びつかず、事業の持続可能性が確保しにくい。
- ・カーボンクレジット市場は複雑かつ閉鎖的で、小規模事業者や個人が参加しづらい。

☑ 解決策

- ・IEO およびトーケンエコノミクスを活用した国際的な資金調達スキームを構築。
- ・NFT を活用し、環境価値をデジタル資産として市場取引可能にすることで、持続的な収益源を確保。

- ・オープンかつ透明性の高い CO₂削減価値取引の仕組みを提供し、広範な市場参加を促進。

③ 環境的課題

💡 課題

- ・世界的な CO₂排出量増加による地球温暖化の加速。
- ・自然環境による CO₂吸収能力の限界（森林伐採・土地利用変化による吸収源の減少）。
- ・現行の CO₂削減プロジェクトは地域限定的で、グローバルスケールでの即効性に欠ける。

✓ 解決策

- ・藻類培養技術による 24 時間 365 日の安定的な CO₂吸収システムを世界各地に展開。
- ・均一化生産システムにより、吸収効率の高い施設を短期間で複数拠点に展開可能。
- ・吸収量データをリアルタイムでブロックチェーン上に記録し、世界規模で環境効果を可視化。

本プロジェクトの優位性（強み）

本プロジェクトは、単なる構想段階にとどまらず、すでに実証フェーズを完了し、事業化に向けた基盤を確立しています。具体的には、藻類培養技術を用いた均一化生産システムの構築を先行して完了し、マレーシアにおいて秘密裏にパイロットプラントを稼働中です。当該施設は**24時間365日**稼働し、CO₂の安定的かつ効率的な吸収を実証済みであり、技術の商業化に向けた確固たるエビデンスを有しています。

さらに、ASEAN諸国をはじめとする各国政府機関、ならびに複数の大学・研究機関との戦略的パートナーシップを既に構築済みです。これにより、研究開発から事業展開、規制対応に至るまで、国際的な協力体制が確立されており、他プロジェクトに比して極めて高いスピードとスケールでの拡張が可能となっています。

この「既に稼働している実証施設」と「国際的な官学連携」という二つの強みは、本プロジェクトの信頼性と実現可能性を裏付ける大きな競争優位性であり、IEO参加者にとっても極めて重要な投資判断材料となります。

トークン利用用途・エコシステム

1. 基本構造

EDEN GREENS Token (EGT) は、当社が展開する藻類培養型生産施設と密接に連動するユーティリティトークンです。EGT は以下の主要用途を持ちます。

1. 資金調達手段

IEO および二次市場での流通により、世界各国での生産拠点構築・拡張資金を調達。

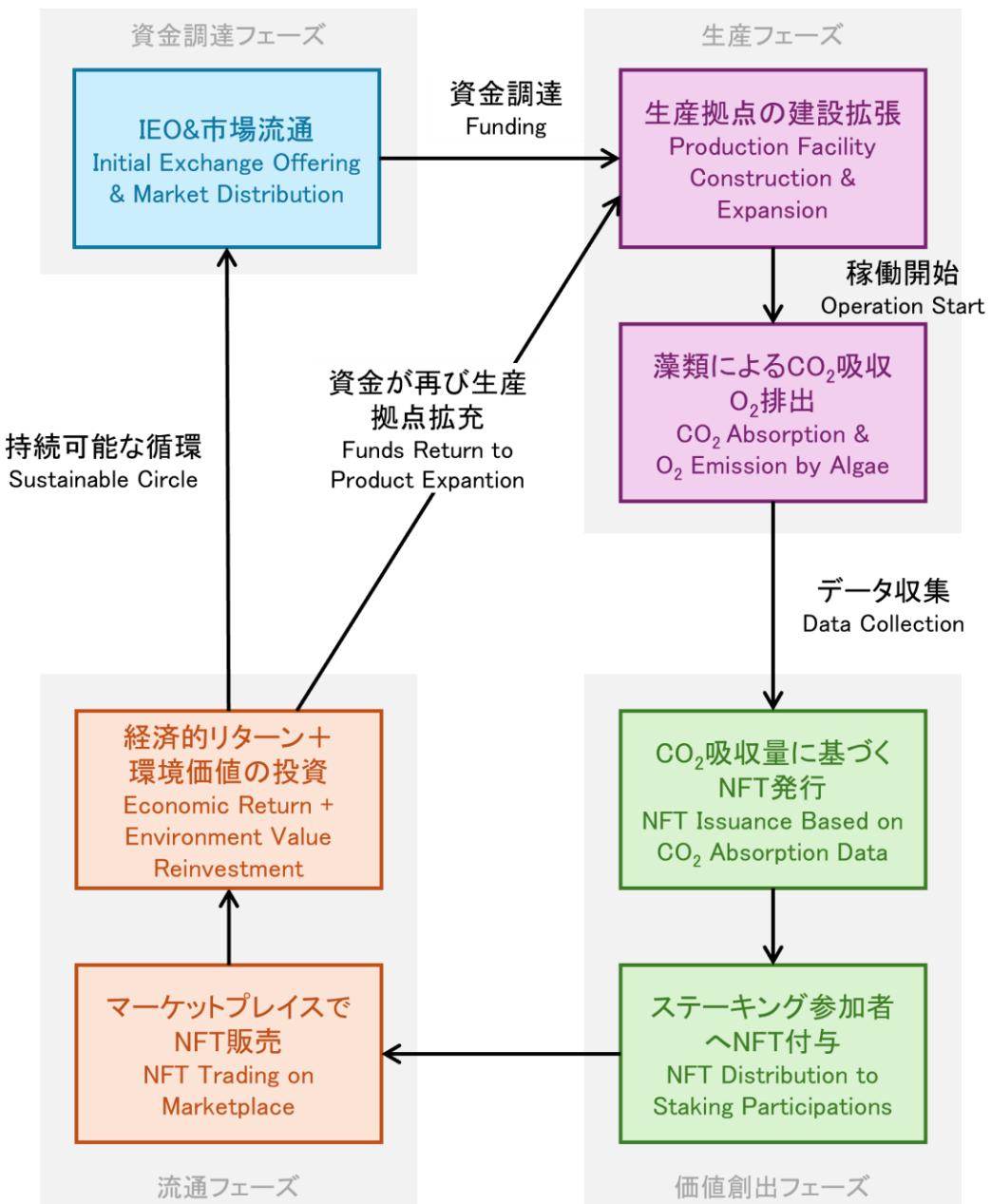
2. ステーキング参加

投資家・支援者は EGT をスマートコントラクト上のステーキングプールに預け入れ可能。ステーキング期間中、実際の生産施設が吸収した CO₂量に応じた NFT を発行し、リワードとして付与。

3. CO₂吸収量 NFT の売買

付与された NFT はマーケットプレイスにて取引可能。NFT は環境貢献の証明と経済的価値の両面を持つ。

2. エコシステムの循環モデル



3. 投資家メリット

- ・環境貢献の可視化

ブロックチェーン上で CO₂削減量を証明できる NFT を取得。

- ・二次市場での収益機会

NFT は需要に応じて売買可能。

- ・長期的成長性

生産拠点の拡大に伴い、NFT 発行量・市場価値の増加が期待される。

4. トーケンエコノミクス (Tokenomics)

EDEN GREENS Token (EGT) は、当社が展開する藻類培養型生産施設と密接に連動するユーティリティトーケンです。

EDEN GREENS Token (EGT) 情報

トーケン名称	EDEN GREENS Token
ティッカーコード	\$EGT
トーケン規格	ERC20
総発行枚数	10,000,000,000 (10 billion)
チェーン	Ethereum
コントラクトアドレス	0x●●●●



アロケーション

IEO 販売分	10%
チーム	5%
アドバイザー	5%
リザーブ	80%
合計	100%

資金調達の使途

生産拠点構築・拡張	60%
システム開発	20%
マーケティング	20%
合計	100%

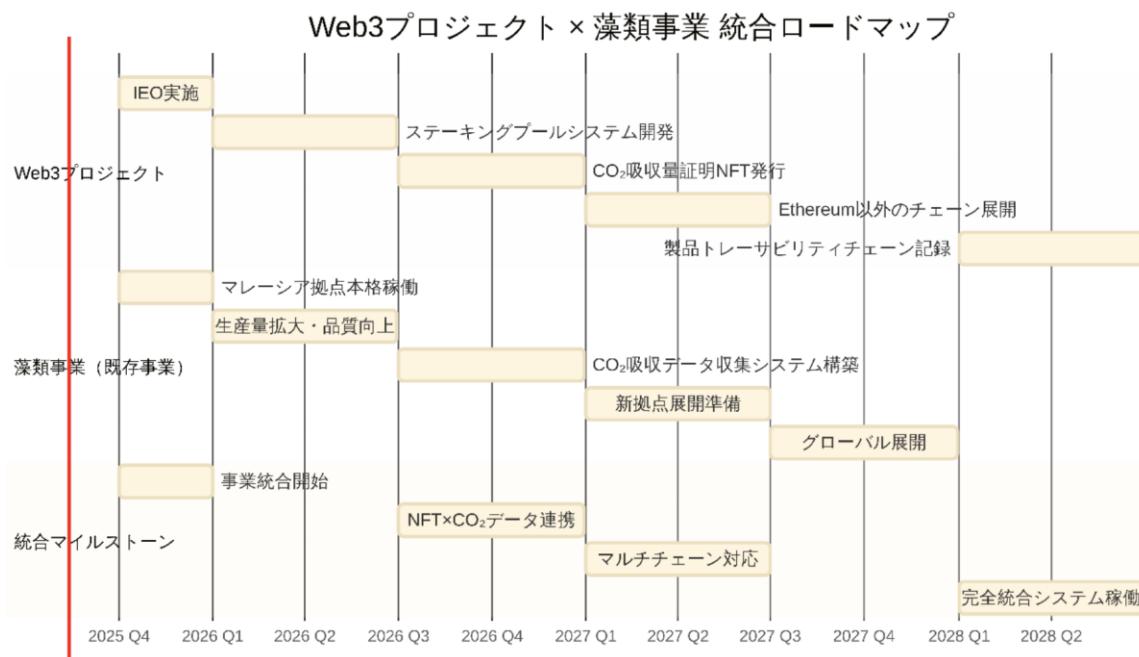
ロックアップ

取引所へのリストティング前に実施する IEO による販売分は、販売後から 6か月間は取引所によるロックアップを実施（売買および送金不可）

バーン計画

検討中

6. プロジェクトのロードマップ



7. チーム・パートナーシップ

- コアメンバーの経歴・写真
- 顧問・アドバイザー（可能なら）
- 技術・ビジネスパートナー（企業や団体名）

8. 法的・規制上の注意事項

- トークンの性質に関する見解（証券性の有無等）
- 日本国内法（金融商品取引法・資金決済法等）への対応方針
- 取引所や監督官庁との協議状況（任意）
- 免責事項（法務面、リスク開示）

9. リスク要因

- ・事業遂行・開発・競争・法令・資金調達などのリスク一覧
- ・投資判断は自己責任である旨の記載

10. 参加資料

- ・ホームページ URL
- ・GitHub やホワイトペーパーの更新履歴 (v1.0 等)
- ・SNS・コミュニティ (Telegram/X/Discord 等)